



## Five Cats!!

## 癒しを求めるあなたへ

弘前市相馬の住宅街、一見するとごく普通のお家ですが、そんな日常の空間にネコカフェ『Five Cats』があります。一步店内に入るとそこには沢山のネコ達が！！ネコ好きにはたまらないひとときです。ネコを飼う上で、ネコは爪とぎをする生き物なので、壁や床にあらかじめ傷防止用のシートを敷くことや、日ごろのやり取りの中で、その子のクセを判断して上手に付き合っていくことが大切なんだそうです。

そんな『Five Cats』ですが、活動はネコカフェだけにとどまりません。実は毎月のように、事情により飼えなくなったネコ達を引き取り里親募集もしているんです。最近、児童虐待のニュースが多く流れますが動物たちもまた、理由のない暴力に苦しめられているのだと代表の佐々木さんはおっしゃっていました。

そんなネコ達のために、レジ横では募金活動も行っています。募金は、保護ネコの活動に使いたいと思っています。ネコ達に癒されるだけでなく、動物と人間の関係性を見つめ直すきっかけにもなります。ネコに限らず、動物を飼うということはその預かった命に対して責任を持つことなんだと佐々木さん夫婦は教えて下さいました。そして、弘前は野良猫や捨て猫が多いので、今後は売上金の一部を去勢手術などの資金にして少しでも野良猫減少のために貢献したいと考えているそうです。

『Five Cats』には県内のみならず、県外からもお客様がいらっしゃるようで、そんな方々に癒しの空間を提供するだけでなく、それぞれの心の中に少しでも動物に優しくなろうという思いが広がっていきければいいなあとインタビューしながら思いました。

また、店内には佐々木さん夫妻手作りのハンドメイド雑貨も取り揃えております。素敵なネコ達と雑貨で極上の癒し空間を共にしてみたいはいかがでしょうか。

夫婦の馴れ初めにも猫が関わっているそうで、最近加わった猫がその猫にそっくりで里親募集せず手元に置きたいそうです。  
『子はかすがい』ならぬ  
『猫はかすがい』  
ですね。

やはり個々で性格が違わらしく、外に興味を持つ子もいれば実際出ても遠くに行かずに家の周りでオロオロする子も居て、それぞれ特徴がある様子。

実際に猫カフェを始めるにあたり、起業のサポートをしている方に相談した際、10件ほど猫カフェを見てくるように言われ全国の猫カフェを色々と見てきたそうです。

設備等も考えられており、飲み物を作る部屋は扉で仕切られた別の部屋にあり、空気清浄機や見えない位置での猫のトイレなど配慮がなされていました。

新しい猫が来た際には、やはり喧嘩をすることもあるそう。そして元々いる猫同士も上下があるらしくどちらかと言うと女性上位なんだそうです。

弘前市黒滝一ノ川瀬82-3  
(相馬地区)  
090-1276-5326  
10時~18時 (火曜日定休)  
<http://five-cats.jp>

# 岩手県野田村新町町会主催の新町夏祭り

2011年の東日本大震災から、今年の3月11日で8年になります。

昨年の8月5日、弘前大学に集合し、弘大ボランティアの皆さんと合流、野田村に向かいました。現地までは3時間半を要し、雨の中、野田村の新町地区コミュニティセンターに到着しました。これくらいの雨なら大丈夫だとやる気満々で、テントの中でヨーヨー、綿あめ、流しソーメン、ほたて焼き、輪投げ、ビール飲みなど、地元の皆さんと一緒に縁日を楽しみました。

当時1年生の子どもが今は中学生になり、今まで生活する中で色々な出来事があったと聞きました。これまでの苦労は大変なものだったでしょう。命の大切さ、人と人の繋がりを考えさせられました。

町では未だに復興の工事が続いています。全ての人たちが日常生活を取り戻すには、まだまだ程遠い状態に思います。それでも一歩一歩進んで行く姿に、地元の明るい未来が見える気がしました。綿あめ、流しソーメンは子どもにも大人にも人気があり、盆踊り、カラオケも盛況でした。あっという間に帰る時間になり、地元の皆さんと寂しいお別れです。

私がボランティアに参加したきっかけは、東日本大震災野田村募集要項を見て、自分も野田村の人のために少しでも役に立つことが出来ればと思ったからです。野田村に向かう道中、至る所に川の氾濫や、道路の決壊がありました。やっとの思いで野田村に着くと、周囲は壊れた家、道路にはみ出したままの瓦礫の山で、大津波の破壊力は想像以上でした。

「継続は力なり」この思いで今まで続けてこられたと思います。この後も自分の出来る範囲で復興の手助けをしていけたらと思います。

野田村支援活動ボランティア：中畑茂樹



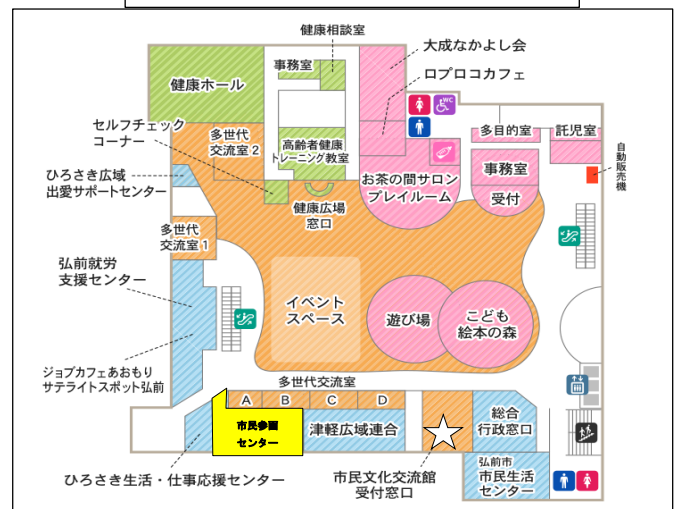
## 弘前市民参画センター・弘前市ボランティア支援センター移転のお知らせ

日頃より弘前市民参画センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、弘前市民参画センターは、7月からヒロロ3階へ移転し業務を行います。現時点での予定は以下のとおりです。

- ◎移転先 ヒロロ 3階 ヒロロスクエア内  
(駅前町9-20)
- ◎移転時期 現センター 6月23日(日)まで開館  
※6月24日(月)~6月30日(日) 【移転作業のため閉館】  
新センター 7月1日(月)から開館(予定)
- ◎移転後開館時間 午前9時から午後9時まで
- ◎移転内容 印刷機・レターケース・ロッカー・  
ワークステーション・打ち合わせスペース・  
図書情報コーナー・ボランティア支援センター

ヒロロ3階ヒロロスクエア配置図



## 豆知識



### 苗を植えるときの注意点

春になりガーデニングや家庭菜園などに苗を植えることが増えると思います。苗はいわば赤ちゃん。少しの注意で、よりよい根の張りをもたらすことが、そのひとつが温度。植えるときに水をやると思いますが、水をかけると折角の土の温度が下がってしまうので、一日取り置きして常温にした水をかけたり、前日に植穴を作り事前に水を入れておくと急激な温度の低下が少なく済み、ストレスが少なくすみます。植える時間も10時ぐらいだと14時ごろまでは日があたるので温度の確保も容易です。



## 編集後記

1年前、スタッフに加わった石岡さんは休日を利用して取材に足を運んでくれています。スタッフ会議の日は仕事ということで、実は一度も会った事が無いんですよ。(笑)積極的にボランティアに参加している姿勢は頼もしい限りで、自分の子どもと同年代の彼に会える日が楽しみです。

令和の時代の1号目『71号』を無事発行出来ました。次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。

ボランティアスタッフ：小山

<制作>市民ボランティアスタッフ  
<制作協力>弘前市ボランティア支援センター  
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター内  
TEL:38-5595 FAX:36-1822  
HP: www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/  
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。